

令和7年度

「運営に関する計画」

大阪市立粉浜小学校

令和7年度

1 学校運営の中期目標（4～7 年度）

現状と課題

【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】

【最重要目標 2 未来を切り開く学力・体力の向上】

【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】

【安全・安心な教育の推進】

○全市共通目標の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童が R4:83. 2%, R5:75. 1%, R6:80. 3%という結果であった。最終目標値を達成できるよう、取り組みを進める。

○小学校学力経年調査「学校のきまりを守っていますか」に肯定的回答は R6:90. 6%と目標値の 85%を大きく上回る結果となった。

○不登校児童の在籍比率が R4:4. 5%, R5:5. 2%, R6:5. 17%という結果であった。

不登校児童・保護者および関係諸機関との連携が引き続き重要であると考える。

【未来を切り開く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査の対全国比を同一母集団において経年的に比較した際、6 年生以外は、国語科・算数科とも前年度を上回ることはできなかった。

○小学校学力経年調査「運動やスポーツをすることは好きですか」に最も肯定的に「好き」と肯定的に回答する児童は R5 : 77. 8%, R6:72. 7%であった。

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、8 割以上の児童が学習者用端末を活用する日数は、R6:50%以上を達成することができている。また、授業の中で週 3 回以上の活用も達成することができている。引き続き「こころの天気」入力、SKY MENUなどの活用を推進していく。

○「学校園における働き方改革推進プラン」基準 1 を満たす教職員の割合は、R5:68%, R6:72%と改善傾向にある。

少なくとも週 1 回の「ゆとりの日」の実質化をめざし、会議の精選、印刷などの業務負担の軽減等を通して、業務内容の見直しを継続する。

(R7までに達成する目標)

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。
- 小学校経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90.7%以上にする。(当初目標値85%達成のため再設定済み)
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

【未来を切り開く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72.7%以上にする。(当初目標値67%達成のため再設定済み)

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の51%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用を適さない日数を除く〕(当初目標値50%達成のため再設定済み)
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教員の割合を72%以上にする。(当初目標値70%達成のため再設定済み)

基準1 時間外勤務時間が45時間を超える月数0、かつ1年間の時間外勤務時間が360時間以下

基準2 1年間の時間外勤務時間が720時間以下、時間外勤務時間が45時間を超える月数6以下、時間外勤務時間が100時間を超える月数0、直近2～6か月の時間外勤務時間の平均が80時間を超える月数0、を全て満たす。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。
- 小学校経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90.7%以上にする。(当初目標値85%達成のため再設定済み)
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

【未来を切り開く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72.7%以上にする。(当初目標値67%達成のため再設定済み)

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の51%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用を適さない日数を除く〕(当初目標値50%達成のため再設定済み)
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教員の割合を72%以上にする。(当初目標値70%達成のため再設定済み)

基準1 時間外勤務時間が45時間を超える月数0、かつ1年間の時間外勤務時間が360時間以下

基準2 1年間の時間外勤務時間が720時間以下、時間外勤務時間が45時間を超える月数6以下、時間外勤務時間が100時間を超える月数0、直近2～6か月の時間外勤務時間の平均が80時間を超える月数0、を全て満たす。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立粉浜小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 87 %以上にする。 (R4:83. 2%, R5:75. 1%, R6:80. 3%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90. 6 %以上にする。 (R6:90. 6%)</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 (R4:4. 5%, R5:5. 2%, R6:5. 17%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【1 安全・安心な教育の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が「いじめはどんな理由があってもいけない」と思う意識を高める。 (いじめへの対応) 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめについて考える日を年 3 回設定し、児童がいじめについて考える機会を設ける。 	
<p>取組内容② 【1 安全・安心な教育の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が学校のきまりや規則を守ろうとする意識を高める。 (安全教育の推進) 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校のきまりを守ろう週間」を年 2 回設定し、「チェックカード」において守れなかった日数が 1 日以下の児童の割合が全児童の 93 %以上になるようにする。 R6 : 1 回目 92. 9% 2 回目 91. 2% 	
<p>取組内容③ 【1 安全・安心な教育の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 担任を中心に定期的に話し合いの場を設け、不登校の未然防止の視点で児童理解に努める。 児童の実態を把握し、思いやりの心や自己肯定感が育つ取り組みを進める。 (不登校への対応) 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートの「自分によいところがある」の項目で、肯定的に回答する児童の割合を 89 %以上にする。R6:88% 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標の達成状況】

【取組の進捗状況の結果】

【分析】

(取り組み内容①に関して)

(取り組み内容②に関して)

(取り組み内容③に関して)

後期への改善点

(様式 2)

大阪市立粉浜小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 72.7 %以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科や算数科・体験学習の授業を中心に、児童が自分の考えをもち、話し合いに参加し、考えを深められるような学習を進めていく。 ・「思考力・判断力・表現力」を育成するための教材や学習プリントを活用し、家庭学習の充実を図る。 ・言語環境を整えるために、学校図書館の整備、読書活動の充実を図る。 (言語活動・理数教育の充実) 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「学級の友だちとの話し合い活動を通じて、自分の考えをふかめたり、広げたりすることができた」に肯定的に回答する児童の割合を 91 %以上にする。R6 : 89% ・1 週間に 3 回ずつ以上、児童が「読み」「書き」「計算」に関する家庭学習をする機会を設ける。 ・年間 30 冊以上読書する児童の割合を 68 %以上にする。R6:66% 	
<p>取組内容②【5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の学習で自分が運動する楽しさや仲間と協力して運動する楽しさを感じられるようにする。 ・なわとびがんばり週間や耐寒かけ足大会に向けたかけ足期間を設け、進んで体を動かす楽しさを味わわせる。 (体力・運動能力向上のための取組の推進) 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートにおける「運動することが好き」の項目について最も「当てはまる」と答える児童の割合を 73 %以上にする。R6 : 72% ・「なわとびがんばりカード」を活用し、自分が決めためあてを達成した児童の割合を、学校全体で 85 %以上にする。 ・「かけ足がんばりカード」を活用し、自分がきめためあてを達成した児童の割合を全学年で 91 %以上にする。R6 : 90.6% 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	

【年度目標の達成状況】

【取組の進捗状況の結果】

【分析】

(取り組み内容①に関して)

(取り組み内容②に関して)

後期への改善点

大阪市立粉浜小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 51 % 以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く）</p> <p>○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教員の割合を 72 % 以上にする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 基準 1 時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 0 、かつ 1 年間の時間外勤務時間が 360 時間以下 基準 2 1 年間の時間外勤務時間が 720 時間以下、時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 6 以下、時間外勤務時間が 100 時間を超える月数 0 、直近 2 ~ 6 か月の時間外勤務時間の平均が 80 時間を超える月数 0 、を全て満たす。 </div>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ・スクールライフノート、ナビマ、スカイメニュークラウド、インターネット検索を使う。 （ICTを活用した教育の推進）	
指標 ・週に 4 回以上は一人一台端末を使用する。R6 : 週 3 回以上で 81% 達成	
取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・時間外勤務を減らすため、会議等を精査する。 （働き方改革の推進）	
指標 ・平均して月に 5 回ゆとりの日を設ける。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標の達成状況】	
【取組の進捗状況の結果】	
【分析】	
(取り組み内容①に関して) (取り組み内容②に関して)	
後期への改善点	

